



水野英彦さん

市長への手紙から

（市長への手紙）

数年内に文化会館をつくるとの話題を聞いています。私はこの件に大変期待しており、必要な事と思っています。現在の市民会館などが古くなつたからとか、市民の声が「必要だ、必要だ」と言つてゐるからとかだけの発想でつくると、中途半端な物しかできないと思います。

建設に当たつては「あそこまで必要ない」とか、逆に「どうせつくるなら徹底してよい物を」などいろいろな意見があると思います。私は他県・他市の人々が音楽を聞くに集まつてくるような文化会館をつくつてほしいと思います。

公共の施設としてのホールには、このような皆様の多様な要求にこたえることのできる機能が必要となります。

このため、音楽主体の多目的な大ホールや、演劇主体の中ホール、また、市民みずからが演じ、発表する場としての小ホールを設けていく考えです。

現在、このような考え方についてどうあるべきか市議会の文化会館建設特別委員会に図つて、検討を進めているところです。

また、ホールの舞台や音響等の構成に専門家を選び、演奏する人が来たくなるような物をつくってください。中途半端な会館をつくつても、すぐ飽きられてしまうのではないでしょう。



市展の市長賞は六十年に続いて今回が一回目。学生時代に舞台美術を専攻したとはい、粘土に触れたのは六年前。郷土陶芸家鈴木道雄氏の指導に刺激され、ぐんぐんこの道にのめり込みました。昨年、市立博物館に陶芸室ができてからは、常連になりました」と語ります。

とはいっても家庭の主婦、商業の手伝いの合間にぬつての陶芸ですから、それなりに苦労もありました。「市長賞も家族の協力のおかけ。子供たちからみたら落第ママでしょうね」と笑います。いまは十月一十七日から静岡の松坂屋で開く、初めての展覧会の支度に大忙しています。

このコーナーは「市長への手紙」をお寄せくださった人の中から、意見・提言などを紹介します。今回は、吉原三丁目の水野英彦さんの「文化会館の建設」についてです。（「市長への手紙」の用紙は、各公民館などに備え付けられています）

文化会館の建設について

大・中・小の三ホールを検討

（市長の答え）
市長への手紙ありがとうございます。

文化の拠点となる新文化会館の建設については、多くの皆様から多様な御意見・御提言が寄せられています。

公共の施設としてのホールには、

市展・工芸展で市長賞を受賞

やまなかくみこ
山仲久美子さん

（田子・40歳）



ま
ち
か
ど

「まちかどネットワーカ」は、皆さんの地域の話題を中心に届けするコーナーです。

皆さんの身近で起こった出来事、御意見などをお寄せください。連絡先：市内永田町一一〇〇 市広報広聴課 五一一〇三 内線二六三 締め切りは毎月十五日です。